**現場の週報から（令和2年6月1日～7月5日）**

**【6月1日～6月7日】**

■介護老人保健施設希望の杜通所リハビリテーション：千葉一也さん

・Sさんから以前より「そろそろMさんと外食に行きたいな～」と職員にお話があり、新型コロナウイルスの状況も落ち着いていることもあり、3日に久々に外食ドライブへお出掛けしています。3月までいた職員へ会いにかなでの杜にも寄り、お会いできたこと、ご本人、職員共にお腹一杯、胸いっぱい充実した時間となったようでした。

■グループホーム「けやき」：大﨑美智子さん

・コロナ感染予防対策にて、けやき全体の大掃除を行っています。物品の配置も医療用品はすぐに持ち出せる所へ移動し、目に見える形で何が入っているか分かるように整理しています。ご入居者さんも、座布団干しを一緒に行って下さりながら「やれることはやりたいと思っているから、どんどん言ってね～」と笑顔で話される姿をみて、周りのご入居者さんも笑顔になります。やっぱり笑顔は繋がっていくんだな～と幸せなひと時でした。

■グループホームゆづるの杜：髙澤智子さん

・面会の制限が緩和され、毎日誰かしらの家族さんが面会に来られるようになりました。まだ買い物や外食は行っていませんが、今週はしばらくお休みしていた床屋さんが来てカットしてもらえるということもあり、少しずつ日常に戻っているのかな？と感じます。面会の制限があった中で、日ごろから関わっているスタッフにとっては少しずつの変化であっても、2ヶ月、3ヶ月と会っていない家族にとっては大きな変化と感じることもあるのだと改めて学び、面会ができない時だからこそ家族さんとのコミュニケーション、電話やZOOMを使ってのご本人とお話していただくことの大切さを感じました。ZOOMの使い方については、髙澤が不在のときでも使えるように、スタッフ向けに勉強会を行ったり、手順を細かく書いたマニュアルを用意しました。

・ビニール袋での防護服作りでは、はじめは利用者さんが不思議そうな目でみていましたが、Oさんが袋を抑えるのを頷きながら手伝ってくださりました。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・新しく入居が決まったご利用者さんの入居契約を交わした際、「コロナが発生したら、どのようになるのですか。」と聞かれました。ゾーニングの話を、自分自身も再度確認しながらお話しました。「方向性が決まっていると安心ですね。」とお話されました。その時に対応できるよう日々、備えたいと思います。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・ドライブや企画を今だ！と積極的に外へ出ています。Hさんの家が近く、帰って片付けをしたいと話してくれ6月にはいりこまめに自宅へ帰る機会も持てています。さくらんぼ狩りに行きたいと声がありましたが、そこまでの外出はまだ難しいと思い、中で出来ないかとスタッフと話しGHの中でさくらんぼ狩りをする予定です。出来ない事も多い今ですが、中でいかに楽しい機会を作れるか頭を柔軟にが求められているような感じがします。7日海が見たいと希望があり亘理までドライブへ出掛けました。何年ぶりにみたかと喜んでくれました。

■ゆかりの樹：佐々木英光さん

・今週は農業園芸センターへ外出する機会を何度か設けました。女性利用者さんに一番好きな花は何か尋ねると「やっぱりバラがいいわね」と、答えられる方が多く「私は真っ赤なバラが一番好きだね」と話される方もおりました。ちょうど満開にあたり一面咲いておりまして、「きれいだね。けっこう手間かかるのよね。いいもの見せてもらった。去年来た時は真ん中の所何か植え替えしてたのよね」と、皆さんそれぞれに感じる所があり感想を述べて喜んでおりました。私達もその言葉や反応に気付かされることもたくさんあるため、制限のある中での時間を大切に共に考え・感じながら一緒に時間を過ごさせて頂きたいと思います。

■ゆかりの杜：加藤知佐さん

・今週は体験利用、新規と２つのご縁がありました。お二方とも福祉サービスのご利用は初めてで、共通することは「一人が好き」「お風呂は苦手」とのこと。ご家族やCMさん、私たちの心配をよそに、お風呂も入られ、皆様と交流されながら活き活き過ごされておりました。新緑ドライブでは「あっち、あっち行こう！」「おーっ」と景色を見上げながら笑顔満開です。移りゆく季節を一緒に感じながら、日々あたりまえの生活が送れますように。新たなご縁に感謝しながら、これから一緒に時を刻んでいきます。

■グループホームゆめみの杜：佐藤恵美子さん

・入居者さんと一緒にプランターに花を植えました。GHの玄関に飾られています。利用者さんに玄関に飾る理由を伺うと「お客様を出迎えるのにはやっぱり玄関でしょ！！家の中の雰囲気が花を飾ることで分かるのよ」と。先日、ご家族さんが面会にいらしたときも「あら～きれい！！」と会話も弾んでいます。城址公園や太陽の村や大河原方面に2日間ドライブに行きました。ドライブ中は窓から入る風に「きもちいいわね～。」とドライブを満喫されていました。

■さくらデイサービスセンター：石川学さん

・ご利用者さんと一緒にフェイスシールド作り等を行っております。作業の中でご利用者から「介護施設は、第2波、第3波への備えとして色々準備しなくてはならないんだね。でも、こうやって準備しておくことで我々は、安心感をもって利用できるんだよ。準備は大変だと思うけど頑張ってね。私もできる範囲で協力するから遠慮なく言ってね。」とお話しを頂いております。私たちの現在行っている準備は、改めてご利用してくださる方々へ安心感を与えるものだと感じております。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・2日にハナトピア岩沼にご利用者7名と職員で行ってきました。車三台で密を避け、久しぶりのドライブができました。バラやしゃくやく牡丹など今の時期にしか咲かない花を見ながら、「コロナで世の中暗いけど花はいつでも綺麗に咲いて、心を晴れやかにしてくれるね」とご利用者がしみじみと話していました。また、女性の方々より男性ご利用者と男性職員が何故かお互いの写真の撮り合いを花の前でしていました(-\_-;)

■特別養護老人ホームふたばの杜：佐山晴香さん

・コロナウイルス感染防止対策が緩和されご家族との30分の面会が可能になってから、ふたばの杜にもたくさんのご家族様が面会に来られています。Ｈさんの奥様は今までは週に１度は面会に来られておりましたが、この２ヶ月程度は「みんなの為にも我慢しました。」とお話がありました。久しぶりの夫婦で過ごす貴重な時間、とても楽しまれているご様子でした。

■デイホームいずみの杜：大﨑雅之さん

・今週は室内で過ごす時間が多く、「仙台七夕まつりも中止になったね」との話になり、七夕飾りの吹き流しを作ることになり準備を始めました。季節のイベントが次々に中止が決まり、ご利用者さんも悲しそうです。イベントの中止は多いですが、ご利用者が楽しめる季節感のあるものを見つけ外出したいと思います。

■ショートステイみはるの杜：濵松良樹さん

・5日午前中から餃子作りを利用者さんと職員が一緒に協力して行いました。準備の段階から（野菜を切ったり、味付けをしたり）みんなで行っています。大事な皮包みも会話を交えながら笑顔で挑戦され利用者さんからは、餃子を手作りしたの初めてと言った声や出来た餃子しか買ったことがないと言った話が聞かれ笑いが起きていました。いろいろな形をした餃子はお昼に焼いて、みなさんに食べて頂き好評でした。みなさんからまた作りましょうと言った声が聞かれましたので企画した職員は次回に向けて行動を開始しています。

・7日午後の時間を使い多賀城のあやめの花を見に出かけました。今年のあやめ祭りは中止となりましたが会場に行くとあやめの花が少しではありますが咲いていました。これから咲き始める様です。出かけた５名の利用者さんは笑顔で花をご覧になられ、とても喜ばれていました。天気が良かったので、その後は仙台港周辺に行き海を見ながら過ごしてきました。久しぶりに海をご覧になられて、みなさん楽しそうな様子で沢山の笑顔を見ることが出来ました。利用者さんの笑顔を見ることは私たち職員にとって何事にも変えられない力になります。来週もどこかに出かけて利用者さんの沢山の笑顔を引き出したいと思います。

**【6月8日～6月14日】**

■さくらデイサービスセンター：石川学さん

・「24日はそば打ちで、とても楽しみだね。あと、昔やっていたおやつ作りがまたやりたいなぁ。」とご本人より声がありました。コロナも下火になってきましたので、引き続き感染予防策をしっかりと行いながら、ご本人のやりたいこと、してみたいことを１つ１つ実現して行きたいと思います。

■グループホーム「けやき」：大﨑美智子さん

・12日の朝に、けやきの畑で育てていた胡瓜３本を収穫しております。早速、その日の昼食に浅漬けにした胡瓜をみなさんでいただきました。「初物はやっぱり美味いね～」と話されたりと、普段より会話も多く味わいながら召し上がっております。少しずつ少しずつ入居者さんの生活に彩りが戻ってきており、今後もみなさんで季節を楽しみながら過ごして行きたいと思います。

■デイサービスみやぎ：髙橋美也子さん

・先週は天気の良い日は景色やお花を見にドライブに行ったり、暑さ対策でかき氷を食べたり、皆さんが快適に過ごせるように工夫して過ごしました。急激に暑くなったので、身体が暑さに慣れていないこともあって、積極的に水分の摂取をお願いしていました。また、金曜日にはちょっと気が早いですが、父の日イベントを行いました。お料理が得意な方、お料理が得意だったけど、今は娘に任せている方、父の日イベントなのに働かされる男性利用者さん、などなど、いろんな方と一緒に餃子・焼きそばを作りました。男性陣が喜ぶ顔が見たくて、用意されたノンアルビールや枝豆、加藤さん特製のいものこ汁などなど、豪華な食事と、おやつにはメロンソーダ！こちらは男性陣に特に好評でした。いつまでも少年の心を忘れずにいて欲しいと思います。いつもより食事が進むのはもちろん、最近食欲が落ちていて心配だったＩさんがたくさん食べてくれたのが嬉しかったです。みんなで作ったから美味しいのか、愛情が込められているからか・・・

これから夏バテが心配な季節ですが、夏バテ知らずの元気なみやぎの杜にしていきたいです。今回のイベントの中で次はちらし寿司がいいわという声も上がっていたので、近々形にしていきたいと思います。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・10日に少し早い父の日のイベントを実施しました。当日の男性利用者はお一人ですが、その方は高次機能障害があり何をするかを忘れないために、毎回一日のスケジュールをノートに職員と一緒に記録しています。毎回使用しているノート用にブックカバーを手作りし父の日のプレゼントとして贈りました。ご利用日にはブックカバーをつけたノート持ってきて下さり、それを見るたびに職員もまた元気をもらっています。

■ゆかりの杜：加藤知佐さん

・玄関前のプランターには皆様が植えた野菜やお花が活き活き育っています。朝、送迎車から降りると育ち具合を確認するのが日課になっており、「ほれ見ろ、胡瓜こんなに伸びたぞ」「水はたっぷり朝、夕な」「トマトの実がついたよ」等、笑顔も満開です。シソの葉に触りながら「シソの匂いかいでごらん」とお互い顔を近づけながら「しぞだ！」と笑顔も綻んでいました。

■デイホームいずみの杜：大﨑雅之さん

・父の日イベントで手作りのピザを3種類、みなさんと作りました。最近デイホームでは時間もある為か、一から作ることが多く今回も生地作りから行いました。生地をこねる作業は一番大変で、「疲れた、大﨑さん頼む」とバトンタッチ。その他の作業もみんなで分業し、あるご利用者さんのソース塗りの鮮やかさにみんなで感動！！

出来上がりはみなさん満足いくものができ、「今までで一番おいしい！」「初めて食べた！」「初めて手作りした！」などの声が聞かれました。室内の設えも徐々に夏に変わっていっています。これまでにないアイデアが出てきて賑やかな飾りができそうです。コロナ熱も下火になってきており気の緩みがみられる昨今ですが、これまでのゆったりとしたデイホーム時間を守っていくためには、改めて気を引き締めなければと思います。

■ショートステイみはるの杜：濱松良樹さん

・13日午後のおやつの時間を使い利用者さんと職員が一緒にフルーツパフェ作りを行いました。今回の企画は、利用者さんに対して、職員が何か食べたい物がないか声がけを行い確認したところ、果物が食べたいと言うご意見が数名の利用者さんから聞かれ、最初はフルーツバイキングを企画しましたが予算の関係でフルーツパフェに変更になりました。準備と盛り付けは利用者さんが中心に行ってサポートに職員が入るという流れで行いました。作業途中の会話を楽しみながら、みなさん上手にパフェを作られていました。完成品をみんなで一緒においしく食べ沢山の笑顔が今週も見られていました。利用者さんからは、こんな豪華なものを食べさせてもらいありがとうと声をかけて頂きました。今後も利用者さんの声から企画を立て実行していきます。

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・HさんがGHの床下を直してくれました。元々GHで伺いをあげていましたが、Hさんに見てもらうと「直せる」とのことで6千円ほどできれいに直していただけました。ご家族にも定期的に報告しておりますが、「父からも聞いてます。いずみの杜さんには本当に感謝しています。」とお言葉頂いております。

・14日にTさんから「またピザを食べたい」と希望があり、コストコピザイベントを行っています。今回はマスク作りに各事業所に貢献して頂いたTさんを中心にして実施しました。今後も皆さんがやりたいことを少人数で行っていこうと思います。

■介護老人保健施設希望の杜：佐久間淳さん

・「コロナが落ち着いているうちにしばらく行っていない定義山に行きてえなあ」というOさんの想いを受け、12日にドライブに行ってまいりました。今回はOさんの希望で普段外出の機会が少ない男性にスポットをあて、2階フロア4名、3階フロア3名、いずれも男性の方のみでの外出。当日は観光客が少なく、参拝後に食事をすべく立ち寄った食堂は100名近く入るお部屋がなんと貸し切り。お断りをして対面、密集とならないよう広々と使わせていただくことができました。普段はムセ込みがあるため極刻みのお食事を召し上がっているIさんも、大好きなラーメンを注文しそのまま上手に召し上がっていました。中には初めて定義山に訪れたという方もいらっしゃり、晴天にも恵まれ非常に良い時間を過ごす事ができました。

**【6月15日～6月21日】**

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・お店が比較的空いている曜日のみ限定で買い物に行く、と決めて、買い物を楽しむ方、久しぶりに髪をカットされる方、居室でご家族とお話しする方、思い思いに、少しずつこれまでの生活に戻りつつあります。戻すというよりも、新生活様式に照らし合わせながら、ご利用者さんが今したいことを、今でなければならないことを、できるだけ優先し、考えていきたいと思います。「ただいま！」と満面の笑みで帰られる日常を大切にしたいと思います。

■グループホームいずみの杜：菅澤宏紀さん

・ご家族からの要望で、16日にご利用者のYさんと、娘さんとでZOOM面会を実施しております。

初めて行うZOOMでの面会にお互いに声が聞き取れなかったりと、戸惑う様子もありましたが、慣れてくると会話も弾み、娘さんからも、「こうやって画面越しでも顔を見て話せるだけでも安心しました。」とお言葉を頂戴することが出来ました。画面越しでの数分での面会ではありましたが、Yさん、娘さんにとっては、とても凝縮された時間だったのだと感じました。また、23日には別のご利用者さんで、旧知の仲でもあるグループホームめぶきの杜に入居されている方とZOOMにてお話しする機会を企画しています。非日常の中でも、色々な方との繋がりを大事にしながら関わっていければと思います。

■特別養護老人ホームふたばの杜：佐山晴香さん

・21日父の日のイベントを行いました。当日は「お寿司食べたい」という男性ご利用者のリクエストからお寿司を注文し、お吸い物や茶わん蒸し、お新香などを添えて会食を行いました。ロングで利用されていた方より「久しぶりにお寿司食べた～おいしい！」などとても好評なイベントとなりました。また普段のご利用の際、食事がなかなか進まない方もパクパクとお寿司を召し上がりご満悦。ご利用者の新しい一面を職員みんなが知ることができました。

■ゆかりの杜：加藤知佐さん

・18日体験利用のTさんはハーモニカ演奏が得意とのこと。他デイ通所中ですが人との交流を好まず、いつも廊下にある熱帯魚を見て過ごされていたそうです。最近休みがちで奥様も「辞めようと思っている」とCMさんに話されていたとのこと。当日は愛猫の「ミコスケ」の話から他者との交流も始まり、ご希望の海へのドライブ外出では「まったくもっていいもんだね」と海を眺めながら亡き「ミコスケ」に向けて見事な「仰げば尊し」を演奏されていました。自分がハーモニカを始めたきっかけは「友達がいない、吹けば誰かが上手いねって喜んでくれるから」とのこと。帰宅時には「次はいつ来ればいい？」と爽やかな表情でした。20日から週２回の利用を開始されました。CMさん、ご家族、私たち、皆さんと一緒に楽しい日々を重ねていきたいと思います。

■グループホームめぶきの杜：名取直保美さん

・16日に仙台農業園芸センターへバラ園の見学に行ってまいりました。午後からの出発でしたが、天気予報も雷雨の予報、途中でも雨に降られましたが、現地に着いてからは雨もあがり（きっと晴れ男？晴れ女がいたのでしょう）楽しんで見学されたようです。皆さんでアイスを食べながら久々の外出を満喫されました。

■グループホームななみの杜：澤村直子さん

・ＺＯＯＭで東京の娘さんと面会をしたり、駐車場の畑に出たり、施設内外をぐるっと散歩したりしています。梅シロップも氷砂糖が殆ど溶けて、エキスが沢山出てきています。どのくらいになったら飲み頃なのか？判断中です（笑）「暑い日にビリビリ（炭酸）入れて飲んだら美味しいよね！氷いれてさ！」等と、美味しく飲んだ時の事をみんなで楽しみにしています。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・今週も暑い日が続きましたが、夕方の涼しい時間に職員で施設周りの草取りをしています。ご利用者のご家族がご利用者をお迎えに来た時その様子を見ていて、「俺が草刈り機で刈ってやるから、これくらいすぐ終わるから」と話され翌日に草刈りをして下さいました。このようにご家族からも私たちは支えられていると改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。

・連泊されている91歳のご利用者の妹さんからお電話があり、ご本人に伝えると「耳が遠くて聞こえないから」と電話に出るのが消極的でした。電話のスピーカー機能を利用したところ聞き取れるようで、姉妹の会話ができました。ご本人から「聞こえたよ、有り難う」と笑顔のお返しを頂きました。

■杜の家みやぎ：佐藤新平さん

・17日にご利用者さんと一緒に仙台港から七ヶ浜にかけてドライブしています。海をみながらおやつを食べたり楽しい時間を過ごすことができました。利用者さんからは、「きれいだ、また来たい」などお話あり、今後もご利用者さんと企画を考えたり楽しめるイベントを実施していきたいと思います。

■グループホームはるかの杜：木村優さん

・20日父の日イベント　２F踊り場の空間を利用し、窓を全開にし外の風景をみながら夕方より、ノンアルコールにて宴会。みなさんほろ酔い気分でとてもいい表情をされておりました。いずみの杜のKさん（ご利用者）より、手作りのマスク20枚と手紙がはるかに届きました。入居者さんに、マスクの説明をし、プレゼントしたところ愛情が伝わってきましたと涙ながらに喜ばれる入居者さんがおりました。入居者の皆さんにご協力頂き、マスクした全体写真を撮影しました。Kさんにプレゼント致します。

■ショートステイみはるの杜：濵松良樹さん

・21日天気も良く暑い日が続いており、利用者さんの水分補給が重要な時期になってきました。利用者さん、個人によっては水分摂取状況が良好な方とそうでない方がいらっしゃいます。そこで、今週はかき氷を利用者と一緒に作り食べました。水分がなかなかすすまない利用者さんも、かき氷にすると不思議と食べてくれます。準備の段階から利用者さんに参加してもらい昔を思い出され、子供によく作って食べさせたと言う話が女性の利用者さんから聞かれました。みなさん、昔を懐かしみながら過ごされていました。

■介護老人保健施設希望の杜：佐久間淳さん

・先週は10件の面会を通してご本人とご家族が繋がりを持つことができています。希望の杜は多床室が主である為なかなか居室での面会はできない状況ですが、1階の相談室を使用し、専用の面会予約表を用いてsection上で共有し、総務のスタッフも協力することでスムーズな面会に繋げられるよう努めています。また、ご家族が自宅にいながらZOOMを使用してご本人と会話することができており、ご本人・ご家族から喜ばれております。自宅からのZOOMの会話は県外に住むご家族からもリクエストが来ており、コロナ収束後も非常に有用なツールとして活用させていただけると思っています。

■介護老人保健施設さくらの杜：佐藤まゆみさん

・先週は火曜日、中庭にピアノを出して音楽会を開催しました。前回実施したところご利用者から好評で「またやって！」と声を頂いていました。桜の木の枝が日よけになりほどよく風が吹く中、中庭に出てベンチに腰掛ける方、点滴をしながらですが看護師が付き添って参加したMさん。２階３階の各ベランダから参加する方など感染予防を意識しながら20～30名のご利用者が参加しました。懐メロや３階からTさんが「きよしのズンドコ節」をリクエスト！やっぱり皆さん歌が好き！大変盛り上がりました。

**【6月22日～6月28日】**

■特別養護老人ホームふたばの杜：佐山晴香さん

・25日天童市にある高柳果樹園へ特養、ショート、小規模３事業所合同でさくらんぼ狩りに行きました。さくらんぼ狩りの前に玉こんにゃくやナスの漬物、わらびの煮物を外のテントでごちそうになりましたが、久しぶりの外で食べるご飯に「楽しいね～おいしい！来てよかった。」と皆さんたくさん召し上がっておりました。さくらんぼ狩りでの皆さんの様子は様々で、一生懸命手を伸ばして採って「こんなに食べちゃった」というご利用者さんや、後から合流した(プライベートで)職員のお子さんにひたすら採って差し上げる優しいご利用者さん、袋にひたすら詰め込むご利用者さん(持って帰れないので職員が頑張って食べました)皆さんいろんな顔をされていて、改めて外出イベントに喜びや興奮が詰まっていることを実感しました。

・27日Ｋさんのお誕生日でした。娘さんが久しぶりに面会に来られ花束のプレゼントをもらったＫさんは「ステキよね」と。「めったに来ないけど…元気な姿が見られてうれしい」と喜ばれておりました。居室担当の赤間さん作成の色紙にも「うわ～すごい、上手」と愛のこもったプレゼントにも感激しておりました。

■杜の家ふたば：岩渕文智さん

・25日　特養、ショートのご利用者さんと合同で山形県天童市の高柳果樹園へサクランボ狩りに行きました。

到着後、毎年高柳果樹園さんが、無償で提供してくださる玉こんにゃくやナスの漬物、わらびの煮物をその場でいただいたた後に、サクランボ狩りが始まります。Ｔさんは職員のお子さんにサクランボを採ってあげることに必死で、自分で食べたのはわずか２つでした。

■さくらデイサービスセンター：石川　学さん

・24日そば打ちイベントを実施いたしました。ご利用者とスタッフと一緒に水回し→こね→延し→切りの手順を行い、ご利用者より「結構、力が必要なんだね。」「全身の運動になるね」「延しは難しいけど徐々にコツをつかんできたな」と会話が弾んでおりました。最後に、打ったそばをご利用者みんなで召し上がると「○○さん、そば美味かったよ。今からそば屋に転職できるんじゃないの（笑）」と美味しいそばを食べで笑顔がこぼれておりました。引き続きご利用者のやりたいこと、したいことを応援して参ります。

■グループホームいずみの杜：菅澤宏紀さん

・26日にKさんとグループホームめぶきの杜のMさんとで、ZOOMにてお話する機会を作りました。Mさんは、昔、Kさんが盛岡白百合大で教鞭をとっていたころの教え子だったとのことで、その馴染みから、以前にもいずみの杜に足を運んでいただいたことがあります。画面越しでの面会に始めは不思議そうにされつつも、お互いの顔を見て次第にジェスチャーをまじえながら笑顔で会話を重ねていくのを見て、とても嬉しい気持ちになりました。KさんもMさんの顔を見て、「覚えてるよ～。」と嬉しそうに話していたのが印象的でした。

■ゆかりの杜：加藤知佐さん

・来月の七夕イベントに向けて、今週から短冊作りを開始いたしました。「お金持ちになりたい」「健康第一」皆さんの願いごとはそれぞれです。「Nちゃんと来年、桜の木の下を手をつないで歩きたい」と話されたTさん。入院してから車椅子で移動されているNさんと、一番の親友であるTさんは歩行訓練を頑張っているNさんをみるたび「頑張れ、ほらもう少し」といつも気にかけてくれています。その言葉を聞いたNさん本人も涙ぐみながら「うん、うん」と微笑まれていました。周囲の方も話しを聞きながら暖かいまなざしで見守ってくれています。来年のお花見は手をつないで歩いているお二方の、とびっきりの笑顔を写真に収めたいと思います。

■グループホーム「けやき」：大﨑美智子さん

・22日に１名のご家族とZOOMの取り扱いを一緒に行っています。ご家族より、「月２回は面会に伺おうと思っていましたが、今後のコロナ感染の状況次第では面会もいつどうなるか分からないので、ZOOMでの面会はいつでもできると思うと安心ですね。職員のみなさんにはZOOMでの面会をお願いするようになりますが、どうぞ宜しくお願いします」とお話いただいております。その後職員同士でZOOMの取り扱いを実際に行い、ZOOMでの面会に向けて準備を行いました。職員より「ZOOMでの面会はお互いお顔が見える面会であるという意識でしたが、実際にご家族の話を伺いご家族とご入居者さんとの繋がりを大切にした取り組みであるのだと気づかされました」と話もいただき、職員のみなさんが様々な経験を通しご家族やご本人の想いに心動かされ、新たな取り組みを共に大切にされているのだと気づかされることが多い一日でした。

■グループホームめぶきの杜：名取直保美さん

・17日と24日に理美容師さんに来て頂き、今まで我慢していたパーマ、カラーを希望される女性入居者さんに行って頂きました。大分白くなった頭から綺麗な栗色に染めて頂いて、とても若々しく変身されました。「素敵ですね！」とお伝えすると、「そぉ？」と照れながらも嬉しそうにされていました。やはり、女性はいくつになっても綺麗にするのは大切なのだと思いました。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・船岡城址公園では紫陽花が見ごろなので、ご利用者と見に行きました。毎年訪れ見慣れている景色ですが、今年も変わらずに綺麗に咲き誇っていました。

・27日に寿退職の職員をご利用者と職員でお祝いと送る会をしました。当日までその職員には内緒にしており、ご利用者と感謝の言葉を折り紙で貼り絵にして作成しました。花束を贈るときにはみんな号泣でした。寂しくなるけど嬉しい門出にご利用者と職員ともにその職員との思い出話に花が咲きました。

■ショートステイみはるの杜：濵松良樹さん

・今週は、利用者さんと職員が一緒に七夕飾りの準備をスタートしました。今年は、仙台の七夕祭りも中止が

決定しましたので、事業所内に飾る飾りは盛大に綺麗な物をみんなで作り飾りたいと考えています。　まずは、

利用者さんと職員のみんなに短冊に願い事を書いてもらいました。さまざまな願い事が書かれているようであり

完成がとても楽しみです。利用者さんも昔を思い出しながら会話を交えながら笑顔で短冊の準備を行って頂き

ました。七夕飾りの準備は来週も続きます。完成に向けてみんなで楽しみながら進めていきます。

■介護老人保健施設希望の杜：佐久間淳さん

・26日、岩出山の道の駅にドライブに行ってきました。当日はあいにくの雨でしたが、久々のお出かけに皆さん笑顔。帰りにお寿司をテイクアウトし、事業所で召し上がっていただきました。

・2階のベランダでトマトとキュウリ作りをプランターで行っています。皆さん自宅で作っていたため、苗を植えたり支柱を立てたりはお手の物。手際よく植えられていました。その後も「水遣りまだやってないかー？」と気にかけ、毎日水遣りをしながら成長を見守っています。今後収穫出来たら皆さんと一緒に調理をしながら召し上がっていただこうと思っています。

・魚釣りが好きなWさん。なかなかお出かけできない時に室内でできることを、と庄司さんが考えてくれました。まず塗り絵が上手なHさんが魚の絵を綺麗に塗ってくださり、それをラミネートし簡易プールに入れ、磁石を使って魚釣りの体験をしていただきました。アタリが来るよう真剣に竿を動かし、「釣れたー！」と笑顔で楽しんでいらっしゃいました。中にはうまい棒も入っており、見事釣りあげた方は美味しく召し上がっていました。

近くにある姫宮神社の近くで車椅子の方でも釣りができるスポットがあるようなので、今後はコロナの状況をみながらリアルな釣りをしていただけるよう、企画をしていこうと思っています。

**【6月29日～7月5日】**

■デイホームいずみの杜：大﨑雅之さん

・今週は晴れ間を見て近所の散歩などを行い、ゆっくりと過ごしています。七夕飾りの制作も随分進み、完成したものを飾り始めています。

また、Iさんの畑もキュウリやニンニクの収穫を行いました。今年初めて挑戦したトウモロコシもグングン成長し、みんなで収穫を楽しみにしています。

「塩茹でがいい」「焼いて醤油塗るとうめぞ」「スープもいいんじゃないか」など、いろんな希望が聞かれています。

■グループホームゆめみの杜：佐藤恵美子さん

・マスクを着用しながらの入居者の皆さんとの会話も定着しお互いが聞こえにくい時やわからない時はジェスチャーで始まりジェスチャーで終わる。入居者さんもジェスチャーを取り入れ難易度が高いジェスチャーや全身を使ってのジェスチャーをあてたときはお互い笑顔で満足気。会話をしながらクイズに挑戦しているような気分になり新しいジェスチャーの技磨きをして楽しんでいます。

■ショートステイみはるの杜：濱松良樹さん

・先週に引き続き、7/7の七夕に向けて利用者さんと職員が協力し七夕飾りの準備を進めてきました。短冊やいろいろな飾りをみんなで一緒に楽しく会話を交えながら、利用者さんの七夕の懐かしい思い出等を聞きながら沢山の笑顔が見られました。準備をしながら昔の七夕の様子を聞くことによって時代の変化につ　いても勉強させて頂き、ありがたい時間をみんなで過ごさせて頂きました。

■グループホームめぶきの杜：名取直保美さん

・家族さんから、梅１０Kgを頂きました。めぶきでは毎年、梅干しや梅ジュースを作っていましたが、今年は梅が高く、半分あきらめていましたが、思いがけない贈り物に皆さん喜ばれ、半分は梅ジュース、半分は梅干しを仕込みました。毎年仕込みを行われているだけあり、「任せて！」とKさん。へたをとったり、一つ一つ丁寧に洗ったりとあっという間に仕込みが完了。ベテラン主婦スタッフY村さんの準備も完璧、出来上がりが楽しみです。

■グループホームななみの杜：澤村直子さん

・２日いつも積極的に色々活動している利用者さんのお誕生日会をしました。昼は寿司。おやつはシフォンケーキをデコレーション。いつものように、自分の祝いのケーキをいつものように一生懸命デコレーションしてくれました。以前作っていた梅シロップも「天気のいい日にビリビリ入れて飲んだら美味しいよね！」等と言っていましたが、最近は雨模様。しかし、おやつの時間に合わせて日が出てきてムシムシと熱くなり、今日は梅シロップ解禁できるね！と、ガラスのコップに梅の実をいれ、炭酸と合わせてシュワシュワ～と。「綺麗だ」「梅の匂いするね」等と言いながら、誕生日の歌を歌い、お祝いしながらケーキと梅ジュースを飲みました。「美味しい」「甘くて美味しい」など、それぞれ喜んでくれました。

・５日利用者さんの白髪染めをしました。二人で脱衣場にこもり、職員がふざけて「いらっしゃいませ～」と言うと、笑って「はい！お客さんですよ～」等と終始ご機嫌でした。二人きりで脱衣場で色々な話をしたり、流すまでの待ち時間チップスター（これ美味しいのよ！と何度も勧めてくれました）を食べながら、YouTubeで昔の歌謡曲を見て歌ったり、ラップを頭に巻いた自分の姿に何度も笑っていました。綺麗な茶色になった事を伝えると「私綺麗？ありがと」と素敵な笑顔がありました。本当はもっと早く染めようと思ってたのに、遅くなってごめんなさいね。と伝ると「いいのよ！大丈夫だから」と言ってくれました。

■グループホーム「けやき」：大﨑美智子さん

・お一組のご面会がありました。久しぶりにお孫さんにお会いし「あら～よくきたこと～嬉しいね～」と涙ぐまれながらご面会されております。ご家族より面会に来れなかったひ孫さんの成長を写真や動画を通じてご本人へ報告してくださり、楽しいひと時をお過ごしになられています。今後も、コロナ感染予防に努めながらもゆったりとご面会が行えるよう配慮した取り組みを行っていきたいと思います。

■グループホームかなでの杜：野本麻未さん

・３０日に２階ユニットでおはぎ作りを行っています。以前より、「おはぎを作りたい」と希望があったため、実施しています。手慣れた様子で皆さんおはぎを丸めて、たくさん作ってくださいました。１階の利用者さんも参加してにぎやかに、行っています。1階の利用者の分までたくさん作ってもらい、みんなでおやつにいただきました。いつもは食事が進まない方も、おいしそうに全部召し上がっていました。「久しぶりに食べたね」「やっぱり手作りはおいしい」と話されていました。

■介護老人保健施設さくらの杜：佐藤まゆみさん

・ご利用者から「肉が食べたい！」「おいしいものが食べたい！」と声が聞かれユニットでは出前、テイクアウト企画をして食を楽しんでいます。１階ではご利用者から「部屋やホールに花があるといいね」という声が聞かれ、お正月ぶりの生け花をしました。バラやヒマワリなど季節の花と、スタッフが自宅から紫陽花やしその葉を持ってきてくれ思い思いに生け花を楽しみました。翌日は「昨日のお花を見に来たよ」と２階のご利用者が訪ねてくるなど、数日きれいなお花を楽しめそうです。